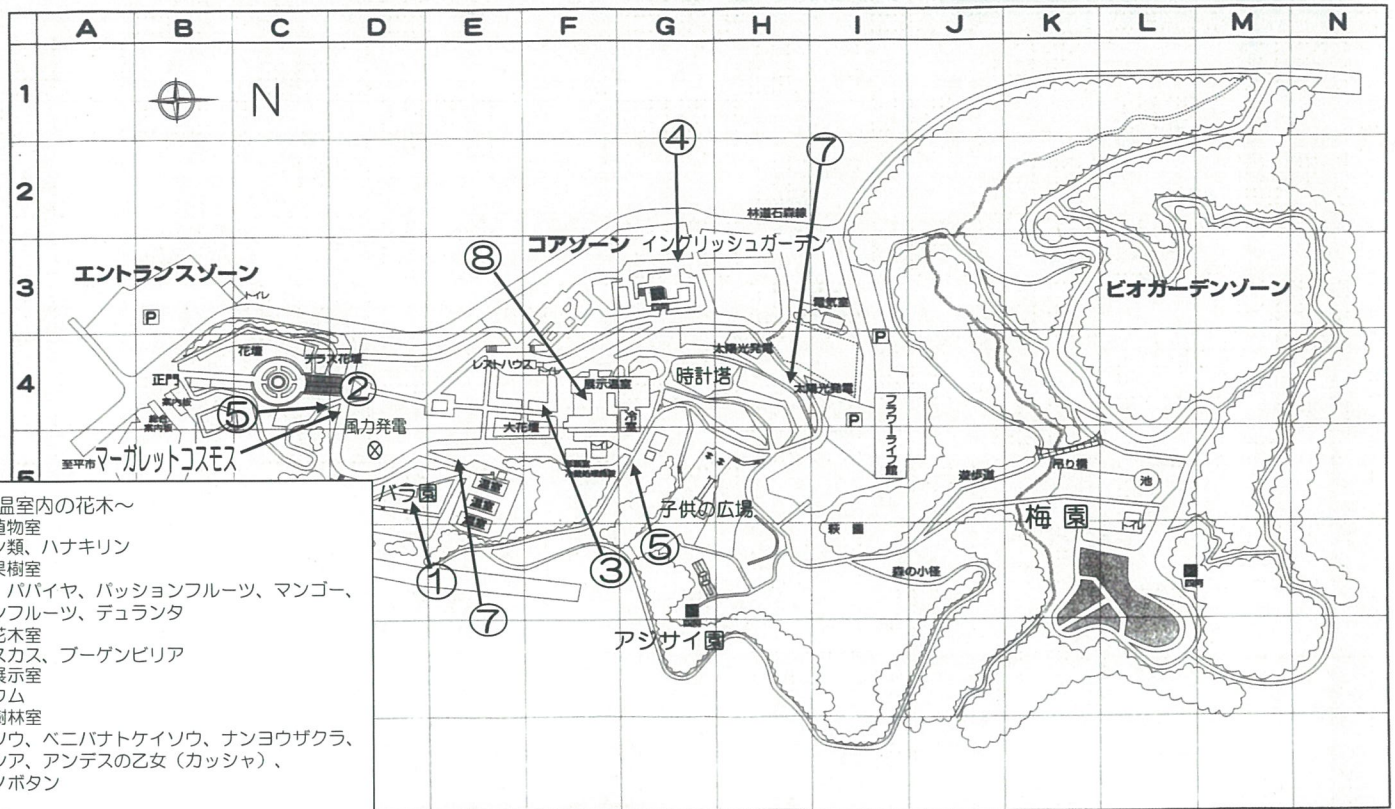


フラワーセンター【11月の花】

2021年度 11月11日更新

※園内の植物の盗難が相次いでいます 園内の植物は絶対にとらないでください。



～展示温室内の花木～
 ・多肉植物室
 サボテン類、ハナキリン
 ・熱帯果樹室
 バナナ、パパイヤ、パッションフルーツ、マンゴー、ドラゴンフルーツ、デュランタ
 ・熱帯花木室
 ハイビスカス、ブーゲンビリア
 ・鉢物展示室
 ゼラニウム
 ・熱帯樹林室
 コエビソウ、ペニバナトケイソウ、ナンヨウザクラ、ストケシア、アンデスの乙女(カシヤ)、シコンノボタン
 ・冷室
 コハマギク

①秋バラ (バラ園)



バラ科 落葉低木 原産：北半球各地
 秋バラは開花に理想的な気温になる為、到花日数が長くなり、貯蔵養分が増えているが鮮やかになり、香りも強まります。しかも気温の高い春に比べ剪定後の芽の動きがまちまちなので、開花時期が長く、霜が降りるまで楽しめます。

②ランタナ (正門から大階段を上って正面の花壇)



クマツヅラ科 常緑低木 原産：熱帯アメリカ・アフリカ
 7～11月の高温期に小さな花を多数集めて傘状に咲かせます。花の色が橙から赤というように変化していくので、「七変化」の別名があります。開花期間が長く、丈夫なので、鉢物としてよく流通するほか、花壇などにも利用されます。

③パンジー (大花壇)



スミレ科 一年草 原産：ヨーロッパ
 パンジーは数千とも言われるたくさんの品種があり、花の大きさ・色・咲き方をはじめとして途方もないバラエティーがあります。パンジーの名前はフランス語のパンセ(物思い)に由来し、花の咲いている姿が物思いにふけているように見えるところから名付けられました。

④メキシカンブッシュセージ (イングリッシュガーデン)



シソ科 宿根草 原産：メキシコ・中央アメリカ
 花びらは白色や淡いピンクで、がくからよっきりと伸びるようにつきます。がくは紫色でフェルト生地のような毛が生えて軟らかい雰囲気を持ち、花びらよりも印象に残ります。穂はきれいな紫色に見え、アメジストセージやベルベットセージの別名もあります。

⑤レオノティス・レオナルス (展示温室北東側・風力の南側通路沿い)



シソ科 常緑低木 原産：南アフリカ
 樹高は2m程になり枝もたくさん出て全体的にボリュームがあり大型です。ライオンの耳に似ている為この名前が付いています。鮮やかなオレンジ色の花冠が約8cm程度の大きさで、葉の付け根に咲きます。

⑥サザンカ (園内各所)



ツバキ科 常緑小高木 原産：日本
 園芸品種の花の色は、白のほか紅、桃ぼかしなど濃淡はさまざまです。花の形は、一重、八重、千重、獅子咲きなど、大きさも直径10cmを超える大輪から小さなものまで多彩です。

⑦ピラカンサ (フラワーライフ館付近・バラ園の西側)



バラ科 常緑低木 原産：ヨーロッパ東南部、アジア
 春西井祭花を咲かせ、秋から冬にかけて赤や黄色のつややかな果実を付けます。果実は重さで枝がしなるほどたくさん付け、緑色の葉とのコントラストが非常にきれいです。

⑧皇帝ダリア (展示温室前)



キク科 多年草 原産：メキシコ～中米
 皇帝ダリアは、大きくても草丈1mほどにしか育たないダリアの中で、唯一5mほどまで生長する種類です。秋空に高々と咲き誇り、「ダリア界の王様」とも呼ばれています。周囲の植物を見下ろすように直立する花姿は威風堂々、圧倒的な存在感を放ちます。